

平成17年度歯科保健活動事業報告書

平成18年3月31日

財団法人 8020推進財団
理事長 井堂孝純 殿

住 所 〒422-8006
静岡県駿河区曲金3丁目3番10号
申請団体名 静岡県歯科医師会
代表者氏名 大久保 満
担当者氏名 飯 嶋
報告者氏名 西 原 和



1. 事業名 8020運動の地域展開におけるツールの開発について
2. 実施組織 8020健康静岡21推進会議
伊豆の国市8020推進員
3. 実施事業
 - (1) 集会の場でできる「歯ミング体操」の普及
 - (2) 集会の場でできる「8020健康サンバ」(振付あり)の作成と普及
 - (3) 大道芸ワールドカップ in 静岡(平成17年11月3日～6日)におけるブース設置と配付資料の作成
 - (4) 8020健康サンバ体操の作成
 - (5) 成人・高齢者向けの紙芝居の制作

4. 事業内容

(1) 集会の場でできる「歯ミング体操」の普及

伊豆の国市 8020 推進員(伊豆の国市保健委員兼任)は歯の大切さや磨き残しのない歯みがきの普及、転倒防止、腰痛予防などを考慮した軽いストレッチを組み入れた体操を考案し、「歯ミング体操」と名付けた。(資料1)

現在、市の条例で定められた歯周病予防対策委員会においても、積極的に歯ミング体操の普及に力を入れている。今までの開催実績は次の通りである。

＜歯みがき体操(歯ミング体操) 実施状況＞ (人)

月 日	事業名	普及人数	8020推進員
17年10月29日	健康まつり「屋外ステージ」 (於 韮山時代劇場)	4000	43
17年11月25日	保健委員全員研修会 (於 県民総合健康センター)	350	32
18年2月27日	歯を丈夫にする生活実践研修にて (於 大仁保健センター)	25	34
18年3月9日	8020推進・静岡県大会 (於 グランシップ 交流ホール)	450	15
合 計	4 回	5125	124

(2) 集会の場でできる「8020健康サンバ」(振り付けあり)の作成と普及

8020健康静岡21推進会議において、若い世代に対して8020運動をどのようにして普及していったら良いのかを検討した結果、リズム感の良い、歌いやすい8020健康サンバを作成することとなった。手作りのものと言うことで、8020健康静岡21推進会議のメンバーの中から、作詞を平野ますみ委員(児童文学者)、作曲を塚原満委員(静岡県歯科医師会広報担当理事)が担当し、楽しくリズムカルな曲が出来た。さらにもっと楽しく8020健康サンバを普及するため、曲に振り付けをすることとした。これには、浜松市在住のブラジル人ダンサーに協力を求め、楽しく歌って踊れる8020健康サンバが出来上がった。早速、ジャケットに振り付けの絵を入れたCDを2,000枚作成し、普及を計る事とした。

また、「大道芸ワールドカップin静岡」(11月3日～6日開催)において、8020健康サンバと振り付けを発表することができ、開催中多くの子供を含む県民が健康サンバを踊り、楽しい雰囲気の中で8020運動の普及が出来た。(資料2)

(3) 大道芸ワールドカップin静岡(平成17年11月3日～6日)におけるブースの設置と配付資料の作成

8020健康静岡21推進会議では、8020運動を多くの県民に周知し、実践する手段として年に一度「県民大会」を開催してきた。しかし、実際には限られた県民しか来場せず、真の啓発活動になっているのか?という疑問を持ち、推進会議で協議の結果、不特定多数の県民に8020運動を周知させるためには、多くの人々が集まる場に出向いて行き、啓発・普及を計った方が意味があるという結論を得た。そこで、毎年静岡市で開催される「大道芸ワールドカップin静岡」に参加し、独自のブースを設置し積極的に8020運動を普及する事とした。

しかし、プロの大道芸者が演じる場で、どのような方法で多くの人々を集める事が出来るのか疑問であったが、楽しく8020を知っていただくために、8020健康サンバを歌い、一般聴衆を巻き込んでサンバを踊ってもらうことを中心に8020推進員による催し、①昨年度作成した8020紙芝居の上演(三島市8020推進員会)、②歯科医師会会員によるマジックショー、③さらに手作りの健康おやつの配布(食生活推進協議会会員)や④フーフーストロー(歯科衛生士会)など、多彩な内容を考え、聴衆の動員に心がけた。さらにおみやげとして、静岡県歯会発行の対外広報誌「スマイル」を配布し、8020推進員について、また歯のQ&Aなどを分かりやすく記載し、啓発の一助とした。また、対外広報誌「スマイル」は1万部作成し、期間中約3,000冊を配布した。(資料3)

(4) 8020健康サンバ体操の作成

8020健康静岡21推進会議では、8020健康サンバを作成し、さらに振り付けをつけたが、もっと低学年から高齢者に至るまで多くの人々を対象に簡単な振り付けで少ない動きのサンバ体操を作成することとなった。低年齢者向けのもの、高齢者向けのもの2つのパターンを作成し、口腔機能の向上などを取り入れた楽しいものを作るという事で、現在作成中である。

(5) 成人・高齢者向けの紙芝居の制作

8020 運動を普及するためのツールとして 16 年度「迷子になった前歯」という、保育園・幼稚園・小学校低学年向けの 8020 紙芝居を作成した。本年度はこの紙芝居をより普及させるために、県内のほぼ全ての市町村において、8020 推進員を中心として、歯科衛生士会の協力、教育委員会など行政との連携、地元歯科医師会のサポートを得て、県下 31 の保育園及び幼稚園、小学校で 8020 紙芝居の上演を行った。

しかし、内容が低年齢者向けで老人施設等の高齢者を対象とするには不向きであり、成人・高齢者向けの紙芝居の作成を要望する声が 8020 推進員より多く聞こえてきた。そこで、過去 2 年間、8020 健康静岡 21 推進会議が募集した 8020 童話を再度見直し、作品を検討してみたが、適当な作品がないため、本年度 3 回目の童話募集を行った。現在該当する作品を検討しているところである。

5. 事業評価及び今後の課題

(1) 集会の場でできる「歯ミング体操」の普及

住民の主体的参加による事業として、伊豆の国市の条例に定められた歯周病予防対策委員会においても地域住民へ实际的に予防対策となる歯ミング体操は有効との結論を得た。今後伊豆の国市で実施される種々の集まりの場において、歯ミング体操により住民の健康向上を目指すこととする。さらに、県内にも広く普及していくことを目標とする。

(2) 集会の場でできる 8020 健康サンバの作成と普及

8020 健康サンバは静岡県歯科医師会のホームページからもダウンロードできるようになっており、多くの県民に対して 8020 運動普及のツールとなったと思われる。

今後は幼稚園及び保育園等に積極的この曲を普及していきたい。

(3) 大道芸ワールドカップ in 静岡におけるブースの設置と配付資料の作成

実施した結果より、専門家の団体が 8020 運動を普及するために、多くの人を自ら集めるのではなく、多くの人が集まる場所に出向いて行き、積極的に 8020 を普及することも良い方法と感じた。しかし、啓発普及の方法についてはさらなる検討が必要である。配付資料については多くの人に受け入れられるような内容づくりが要求される。

(4) 8020 健康サンバ体操の作成

動きが少なく、簡単な動作からなる 8020 健康サンバ体操の作成は急務である。動きの中に高齢者の口腔機能の改善、健康の増進に結びつくようなものを入れ、積極的に老人施設等に普及していくことを検討している。

(5) 成人、高齢者向けの紙芝居の制作

平成 18 年度中に紙芝居の作成を行い、8020 健康サンバ体操とセットで老人施設等に普及していきたい。さらに 8020 という言葉、その意味するものを全世界に発信できるような海外向けの紙芝居の作成にも取り組んでいきたい。